

持続可能な林業経営に向けた DX の推進

(国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林業工学研究領域 収穫システム研究室長

中澤 昌彦 氏

現在、世界的な新型コロナウイルス感染拡大に端を発したウッドショックに加えて、ロシアへの経済制裁に伴う、いわゆるロシアショックが追い打ちをかけ、輸入木材の供給不安が拡大しています。また、気候変動対策も相まって木材需要は世界的に増加しています。こうした背景から、資源セキュリティの観点からも国産材の利用拡大の重要性が益々高まっています。

そこで 4、5 月の月例研究会では森林・林業・木材産業への投融資の観点から、森林を再評価する手段のひとつであるカーボンオフセットについて理解を深める企画を実施しました。これらのメカニズムを機能させるために

も、また、実質的な国産材の安定供給のためにも、持続的な林業経営の確立を通じた主伐後の確実な再造林の実施が不可欠です。さらに、林業の現場においては、低い労働生産性や高い労働災害率などの林業特有の課題を改善するとともに、生産・育林コストの低減による林業経営体の収益性の確保が重要です。これらの課題解決に向けて、森林施業の効率化・省力化や需要に応じた高度な木材生産を可能にするため、地理空間情報や ICT、ロボット等の先端技術を活用した「スマート林業」の実現に向けた取り組みが進められています。

そこで、7 月の月例研究会では、(国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所の中澤昌彦室長をお招きし、持続可能な林業経営の現状を俯瞰して戴くとともに、林業分野での DX(Digital Transformation) の活用等、スマート林業に関する技術開発動向について、海外の先進事例も交えてご講演いただきます。多くの皆さまの参加をお待ちしております。



～ 記 ～

□日 時： 2022 年 7 月 14 日 (木) 17:30 ～ 19:00 (受付開始 17:00)

□会 場： オンライン開催 (ZOOM ミーティング)

※お申込みを頂いた方に、後ほど、ZOOM に関する情報をお知らせします。

□主 催： 木材利用システム研究会

□参 加 費： 会員は無料、非会員は 3,000 円

□申込期限： 2022 年 7 月 11 日 (月)

□申込方法： 当研究会ホームページ (<https://www.woodforum.jp>) からお申し込み下さい。



お申込み お問合せ先：

木材利用システム研究会 事務局 (担当：幡、知念)

(東京大学アジア生物資源環境研究センター環境材料設計学研究室)

<https://www.woodforum.jp/>

メール：info@woodforum.jp 電 話：03-5841-7506